

男	2,634	-18
女	2,899	-35
合計	5,533	-53
世帯数	2,613	-42

令和5年12月末現在

公民館利用状況(12月)

利用件数	155件
利用者数	1,695人

こまつ 2月

西条市小松公民館 〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲 3008 番地
TEL・FAX:(0898)72-2631 E-mail:komatsu-k@saijo-city.jp

【小松地域未来塾(小松中学校)】 令和5年12月26日(火)、令和6年1月6日(土)

冬休み期間中の2日間に、小松地域未来塾(小松中学校)を開塾しました。
参加人数は延べ56名で、小学5・6年生8名、中学生48名でした。

前回好評だった「インターバル学習法」という、『勉強(15分)+休憩(5分)=1セット』を繰り返す学習方法を実施し、9:00~15:00の時間を効率よく使って勉強する事が出来ました。

また12月には、今年度新たに、休憩時間に「チャレンジカフェ」を開催！中学1年生有志が企画し、勉強の休憩時間にみんなをおもてなしました。メニューも自分たちで考え、飲み物やお菓子、手作りのチョコレートフォンデュなどを提供し、普段やったことのないコーヒーを入れたり、ポットの使い方がわからなくて悪戦苦闘したりしながら終始笑い声の絶えない楽しいカフェが開催されました。



【開塾式】



【インターバル学習】



【チャレンジカフェ】



【カレー作り】

昼食は、みんなでカレー作りを体験し、おいしくいただきました。

食後は、中学生が考案した中学校あるあるクイズ！
小学生が中学校に入学する前に知っておきたいプチ情報満載の「クイズ」を出題！参加していた小学生は、クイズに答えて景品と貴重な情報をゲットすることができました。

午後からの「ようこそ先輩」は、西条高校2年生の玉置颯士朗さんによる高校生活をテーマとしたワークショップを行いました。玉置さんは、教師を目指し睡眠3時間で頑張っているそうです。



カレー



【中学校あるあるクイズ】



【ようこそ先輩】

<12/26・1/6 感想>

- インターバルでは集中して勉強に取り組むことができました。
- カフェでリフレッシュが出来て勉強とのメリハリをつける事が出来ました。
- カレーが美味しかったし、クイズで中学校のことが知れて良かったです。
- ようこそ先輩の話はとても良かったです。僕も努力していきたい。
- 牛丼と七草がゆとても美味しかったです。
- eスポーツは楽しいんだなと思いました。将来、eスポーツに出てみたいです。

1月もインターバル学習をし、午後からのeスポーツをする前に、佐々木先生より「eスポーツ座学」を受け、ゲームをする上でのルールを学びました。

お昼は、小松地区婦人会による「牛丼」と「七草がゆ」をいただきました。七草は西条の特産ということもあり、生産者の方から地域の子どものためにと、ご寄付いただきました。ありがとうございました。

★小松地域未来塾にご協力いただいたコーディネーター、講師・立志隊・婦人会・PTA・おやじ部・地域の方々、ありがとうございました。



【eスポーツ】



高齢者の居場所づくり(高齢者カフェ)

高齢者が気軽に立ち寄り話ができる居場所づくりとして『高齢者カフェ』を開催します。遊びに来てくださいね。

日時: 令和6年2月13日(火)
9:30~11:30



場所: 小松公民館 大会議室

対象者: 65歳以上の方、ご家族の方 等

問合せ: 西条市地域包括支援センター西条西部・小松

担当: 佐伯 Tel 0898-52-8221

持参物: 水筒(自分の飲みたい物) 老眼鏡、筆記用具等



日程: 2月21日(水) 10:00~11:30
(毎月第3水曜日)

場所: 小松公民館 研修室

内容: カフェをしながらの団楽

介護相談など

認知症の方、そのご家族、認知症について知りたい方、地域のどなたでもご参加いただけます。
ケアマネージャー、社会福祉士、看護師など、専門職が相談に応じます。

問合せ: 西条市地域包括支援センター西条西部・小松

担当: 佐伯 Tel: 0898-52-8221

♪お茶を飲みながら、気軽におしゃべりしませんか



一駐在さんのつばきー

こんにちは、小松駐在所の宗岡です。
今回は、災害に対する準備について話します。
石川県において地震が発生しましたが、当県においても何時災害が発生するかわからない状況です。

もしもの時に備え、

- 避難場所を確認しておく
 - 防災グッズ(非常食等)を準備しておく
 - 家族で、連絡方法を確認しておく 等
- 日頃からできることを対策しておきましょう。



西条西警察署 小松駐在所 TEL:0898-64-0110



小松公民館の正面玄関に小松山草会の皆さんより、素敵な門松を飾り付けていただきました。
ありがとうございました

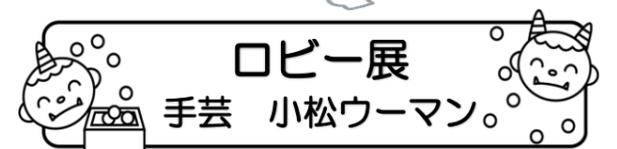
行事予



日	曜	行事名
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	休館日
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	こどもチャレンジ教室 9:30~
11	日	休館日 建国記念日
12	月	休館日
13	火	高齢者カフェ 9:30~
14	水	
15	木	
16	金	行政相談 13:00~ 女性学級 13:30~
17	土	
18	日	
19	月	休館日
20	火	
21	水	つばきカフェ 10:00~
22	木	
23	金	休館日 天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	休館日
27	火	
28	水	
29	木	小松子ども教室実行委員会 19:30~

◆西条市役所のHPにはカラー版を掲載しています。

西条市小松公民館だより





お知らせ

令和6年度 小松公民館定期利用サークルの登録について

<p>令和6年度「サークル登録について」 公民館を定期的に使用するには、サークル登録が必要です。継続または新しく登録を希望するサークルは、登録申請をお願いします。 詳しくは公民館にお問い合わせください。 申請書の提出締め切り：2月10日（土） 提出先：小松公民館 72-2631)</p>	<p>令和6年度「小松公民館サークル代表者会」 サークル代表者会を下記のとおり開催しますので、登録したサークルの代表者は、必ず参加してください。（代理可） 開催日時：3月6日（水）11:00～ 開催場所：小松公民館 大会議室</p>
--	---

ご案内

女性学級「ホウ酸団子作り」

ホウ酸団子を作って

ゴキブリの駆除対策を！

日時：2月16日（金）13:30～

場所：小松公民館 調理室

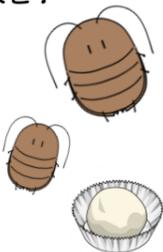
指導：小松婦人会

費用：材料代実費（400円程度）

当日集金します。

※申し込みされた方は参加をお願いいたします。

問合せ：小松公民館 Tel 72-2631



<p>令和6年度小松小学校・小松中学校学校開放登録について 前年度の使用団体には書類をお送りします。新規登録する団体は、公民館にお問い合わせください。 申請書の提出締め切り：2月10日（土） 提出先：小松公民館（72-2631）</p>
--

「ニュースポーツ」を体験しよう！

ニュースポーツは、誰でも気軽にできるスポーツです。親子3世代が触れ合うよい機会にもなります。皆さんお誘い合わせの上、ぜひ遊びに来てください。もちろん、1人からでも参加OKです。

◎開催日時 令和6年2月10日（土） 19:00～21:00（受付18:30～）

◎場 所 小松体育館 アリーナ

◎種 目 ポッチャ、ラダーゲッター

◎募集人数 先着40名

◎募集締切 2月7日（水）

※募集人数に達しない場合は、当日まで申し込み可

◎準備物 水筒、タオル、体育館シューズ

◎注意事項 当日は運動のできる格好でご参加ください。

事前に申込用紙にてお申し込みください。

体調のすぐれない方は、ご参加の自粛をお願いします。

◎申込先 本庁スポーツ健康課または公民館（小松・石根）

◎備考 スポーツ保険は主催者が加入します。

◎主催 西条市スポーツ推進委員協議会小松支部

◎問合せ 西条市スポーツ推進委員協議会事務局（西条市役所スポーツ健康課内）

TEL：0897-52-1255 FAX：0897-52-1294



郷土資料室から 特別展「千姿万態 ～古文書は姿を変える～」

役目を終えた古文書がその姿を変えて新しく生まれ変わります。捨てる事なく残された小松ゆかりの古文書の新しい活用や再研究の一面を紹介。お見逃しなく！



- ・会期：開催中～ 3月24日（日）まで
 - ・休館：月曜日（12日開館）、1日（木）～7日（水）、13日（火）、29日（木）
 - ・時間：10:00～17:00 入館無料
- 小松温芳図書館・郷土資料室 ☎（0898）72-5634 小松町新屋敷甲 3007-1



人権について考える 人権標語

令和4年度人権意識を高めるための作品集より

『みんなちがっていいんだよ そこがあなたのすてきなところ』

小松小学校 1年 武田 慶太郎（現在2年生）



～毎月10日は人権を考える日～

【優秀賞】愛媛県教育委員会教育長賞

「 一歩踏み出すために 」

西条市立西条北中学校 2年 大村和希羽

中学校に入学して一年半が経った。しんどいこともあるけれど、楽しい学校生活を送っている。友達もできて、部活にも一生懸命に取り組めるようになったからだ。

だが、学校生活の中で苦しくなることが全くないわけではない。休み時間などにたまに聞こえてくる会話に気分が落ちこんでしまうときもある。言っている人は深く考えずに言っているのかもしれないけれど。「学校に来ていないやつを見るといらつく。学校に来れなくなるとかメンタル弱すぎやろ。」私はこの言葉を聞いてどきどきとして、体がこわばってしまった。怖くなったからだ。

私は小学校のとき、学校に行けなかった時期があった。四年生のときのことだ。五年生からは保健室登校、六年生のときもほとんど別室で過ごした。だから、私に向けられた言葉ではないと分かっているけど、そのときのことを思い出して怖くなってしまったのだ。私はみんなにとっていらつく存在だったのだろうか。確かにメンタルが弱いと言われればそうだったかもしれない。当時疲れきって家から出ることもできない状態だったからだ。でも、それまでのことを考えるとメンタルが弱いからという一言で片付けられるとすごく嫌な気持ちになる。学校に行かないと決めるまでにとどだけ悩んだか、とどだけ苦しんだか他人には分からないと思う。だから、「いらつく」「メンタルが弱い」という言葉は私の心を突き刺すくらい辛い物なのだ。それに、もし学校に来ていない本人がこの言葉を聞いたらどんな気持ちになるのだろうと、考えただけでぞっとしてしまう。私なら二度とそんな学校に行くもんじゃないと思うだろう。こんなことを言うのは本当にやめてほしいと思う。

しかし、私は思うだけで、何も言えない。そして、そんな自分にいらいらして、たまに嫌になる。じゃあそんなこと言わないでと伝えればいいのと思われるかも知れないけど、言うことはできない。それは、四年生のあのときに戻ってしまうかもしれないからだ。私が学校に行けなくなったのは、人に注意をしたことがきっかけだった。私の意見はあっさり否定された。そして、周りの人はその意見に同調して一緒になって私に言い返してくる人もいた。また、その意見に同調しているわけではないけど、何も言わず知らん顔をしている人もいた。もしかしら、私の意見に賛成してくれている人もいたかもしれない。でも、それを見つけれなかった。そんな日々がしばらく続いた。そして、もともと友達のいないクラスだったというのもあり、私は一人になってしまった。一人で過ごす休み時間はすごく長かった。だから、私は休み時間が一番嫌だった。そして、一学期の終わりには私はクラスに入れなくなってしまっていた。

私は、どうしたらよかったのだろうか。黙っていたらよかったのだろうか。なんなら一緒になってぶざけるくらいのほうがよかったのだろうか。私が心を広くもって、もう少しがまんできていればこんなことにはならなかったのだろうか。私にももう少しユーモアがあっておもしろい話ができる人気者だったら、その人たちは話を聞いてくれたかもしれない。でも、現実の私はユーモアもない、人気もない、心も広くない。残念ながら話をしても受け入れてもらえそうにない。世の中には差別をなくす立場に立つ人と差別を残す立場に立つ人の二種類の人がいるという。今の私は、完全に差別を残す立場の人間である。そう考えると悔しくてたまらなくなる。できれば差別をなくす立場に立つ人になりたい。でも、傷つきたくもない。学校に通えなくなるようなことには、もう二度とやりたくない。二つの気持ちが天びんのように揺れ動いている。バランスがとれて、どちらも大切にできるようにしたい。

私がこの作文を書いたのは、自分のためである。正直言って、学校に来ていない子のことをなんとかしてあげたいと、いつも考えているわけではない。悪口を言っている人のことを大切にしたいと思ってこれを書いたわけでもない。自分の気持ちの整理をしたかったからだ。そして、分かったことは、自分のことが一番大切で、誰からも嫌われたくない、臆病者だということだ。私は八方美人の典型であろう。

理想は、学校に来れない子のために何が出来るか考えたり、悪口を言う子に「言わないでほしい」ときちんと伝えたり出来る人になることだ。しかし、理想にはまだ遠い。

私は、この作文を書きながら小学校のときのことを思い出して、何度も泣いた。でも、泣きながら少しずつ気持ちがほぐれていくように思った。まだまだ弱くて臆病な私だけけど、一つだけこれから実行しようと思うことを決めた。それは、学校に来ていない子の机の中をきれいに整頓することだ。いつ来ても気持ちよく過ごせるように。

松山地方方法務局ホームページより